

# 2018年度

## 合格者インタビュー



開成高・筑波大附属高・早稲田大学高等学院・江戸川学園取手高・都立西高 合格 村山 元啓さん  
(茨大附属中)

開成高をはじめ、首都圏難関高に複数合格しました。おめでとうございます。

Q まず、水戸アカデミーに通って良かった点をお聞きます。

A 僕が水戸アカデミーに入ったのは中1のときで、最初に受けた月例テストで英語の偏差値が30くらいでした。しかし、先生の言うことを信じて忠実に勉強を進めていったら、徐々に成績が上がり始めました。2年生から早稲アカ難関クラスに入り月例テストの点数をレベルの高い友人達と競い合ったことで、最後には開成高に合格することができました。

Q 学校の授業と水戸アカデミーでの授業の違いはどうでしたか。

A 僕はそもそも勉強というもの「受験のためにやる」ものではなく、「自分の知りたいことを追究する」ためにやるものだと思っています。水戸アカデミーでは自分の知りたいことにしっかりと答えてく

れる知識豊富な先生方がいたので水戸アカデミーを選んで本当に良かったと思います。

Q 村山くんは開成高や早大学院高にも受かっていますが、都立西高へ進学する理由は何ですか。

A 勉強をすることはこれからの人生に欠かせないことだと思っていますが、自分が大学附属の学校へ進学した場合、遊んでしまうだろうという自覚がありました。だから、自由な校風がありつつ、自分で勉強をしっかり進められると思い、都立西高を選びました。

Q 実際に受験会場でどんな風を感じましたか。

A 開成高では受験生みんなが頭よく見えて怖かったのですが、同じ試験会場に水戸アカデミーの友達がいいたので、友達と励まし合い、頑張ることができました。

Q 実際に入試問題を解いてみて、どうでしたか。

A 開成高については正直なところ、オープン模試よりもはるかに簡単に思いました。特に国語がよくできたという感想です。国語の文章題は昔から本当に苦手だったのですが、先生に添削していただいたり、授業の振り返りをしたりという努力が実ってよかったなと思います。

筑波大附属高は過去問をやっていた時から問題の相性がいいなと感じていて、本番でも順当に解くことができました。早大学院も開成高と比べたら簡単な問題だったのでリラックスして受けることができました。



Q 早稲アカ夏期合宿や正月特訓はどうでしたか。

A 夏期合宿は比較的上位のクラスだったのですが、早稲アカの生徒の人たちから明らかに自分よりも勉強をこなしているなという顔つきとかオーラのようなものを感じて、自分もやらなきゃいけないという気持ちになりました。早稲アカの正月特訓も自分より出来る人がたくさんいて刺激になるので、そういう刺激が欲しい人は絶対に行くべきです。

Q 水戸アカデミーの教材でいちばん役に立ったものを教えてください。

A 英単語に関しては首都圏で三年間やってきた人たちにはかなわないので、先生から過去問の中からわからないところをピックアップしろと言われて作ったものが役に立ちました。

国語は文法が本当に苦手だったので、永盛先生にもらったプリントを繰り返し復習することで克服できました。『W イニシアチブ』も開成の問題より難しいような問題も載っていたので役立ちました。数学は、富岡先生が作成したプリントと、同じく富岡先生から勧められた『高校への数学』がとても役に立ちました。

Q 将来の進路についてなにか考えていますか。

A 理系です。特に決まっていないですが、理系に進みます。

Q 首都圏高を受ける後輩へのアドバイス

A 例えば英単語を覚える練習でも、ぼくは5,6通り試して自分が一番覚えやすいものを採用しました。更にそれをこなすうちに改良していけば自分なりの方法に行き着くと思います。こうやって、自分なりの勉強方法を確立できれば、上手くいくと思います。

